—第2回— おすすめ自主映画館

○ さて、今回の作品はどんな映画でしょうか？

「MY SIDEKICK」より

「玄米のワカメ」より

<プロフィール>

須賀勢次郎

中学3年時に、処女作「スクールウィーズ」を製作。
慶応義塾高校に進学後、Neo Keio Hi Filmを結成、数の多い自主製作品を次々に発表。
現在博報堂に勤務。
新作映画の構想を準備中。

<監督作品>

○「スクールウィーズ」(84)
○「スクールウィーズ2」(84)
○「ODDBALLS in the crazy space」(86)
○「MAVERICKS」(87)
○「激闘！死なない軍隊～ファミリーダイズ～第2話」(89)
○「MY SIDEKICK」(90)
○「Neo Keio 1998」(91)

<作品解説>

◆『MY SIDEKICK』

★製作年度および製作期間　1989年4月～90年8月
★製作費用　ノーコメント
★使用機材　ZC-1000 Z600
★上映時間　2時間11分
★製作団体　Neo Keio Hi Film
★スタッフ
監督・原案・脚本・撮影・録音・音楽・美術・衣装・特殊効果　須賀勢次郎　編集　須賀勢次郎、鳥木和人　助監督　安田麻由子、塚元あつし
メインテーマ曲―村井敏夫　挿入曲―土井康明、塩塚ひろし、伊崎勝
挿入曲―加藤隆史、加藤雄史、LORD BYRON　音響―オケアノス
光照明屋・サウンドデザイン―鳥木和人　アニメーション―高橋文夫
光学合成アドバイザー―岡村博文　合成マネージメント―田辺日太　SFX撮影―IML
メイク指導―庄司真由美、今村ちえ子　武術指導―真野恵佳　スタント―安富祥雄
衣装―JAP工房、須賀恒一郎、小林和仁、佐藤光彦、佐藤文子、鈴木愛弥、武林祐加
協力―伊藤和之、稲島一朗、平松豊、笹田昌子、登崎みのと、阿部敏丸、真山尚紀、国生直矢、
吉岡直子、DE BEUT、横浜海技術高等、前島洋、今関あきよし
メイク&製作デスク―安田麻由子　制作―塚元あつし
★キャスト
☆CAST　NITTA　鳥木和人　伊崎勝　安藤恵美子　宮本麗子　村田尚陽　山村哲雄
☆VOICE　冬麗子　真木由紀子　鳥木和利　荒木久美子　ダルパート・玉・久野　中島一彦
★あらすじ　舞のサイキック素質は大正から平成へタイムスリップ。それを狙う少年。
★メッセージ　長くてゴメンなさい。でも多分あきないと思います。
特別15他自作品を出演中。あと、CGを使った短編も。

田村大悟

東北学院大学　映画部　1975年生まれ。
「良い映画を作ることは、良い人生を歩むことだ」という自分自身の発言に感動して、映画を愛するようになる。現在、その発言に矛盾を感じつつも、新作を製作予定。

<監督作品>

○「せり、なずな、しゃぼん玉」(94年3月、30分)
○「気狂いピエロ」　(94年5月、7分)
○「ミックス缶ジュース」(94年5月、40分)
○「玄米のワカメ」　(94年11月、35分)
○「界面のトンボ」　(95年12月、45分)

<作品解説>

○「玄米のワカメ」
監督　三村大悟
撮影　佐藤光彦
出演　八木洋美　田村大悟　真田良介　吉岡裕子
時間　45分
幽霊画のような短編。
「精神的感情」が「肉体的感情」に変化していく主人公は、かなり救いない奴です。武器を捨て、記憶や理性すらも捨てて愛をしている彼はきっと一人で狂ってしまうか、相手を選ばれに二人で狂ってしまうかのどちらかでしょう。

○「ミックス缶ジュース」
出演　佐藤佳二　今野志保子　吉村玲奈
八木洋美　山田清之
水彩画ような短編。
5人の男女は、1枚の水彩画から創作出したかのように口べたな恋をする。だが、映画には、絵画にはない、時の流れがある。　さよならの場も存在する。
時の流れの切なさと、恋愛の切なさは、変えたくなかったものまで変えてしまう。それがどんなに大切なものであっても、　幸せな時であっても。

TIME TABLE

（15日のみ）

	1回目	2回目
SIDEKICK	1：15～	5：10～
玄米のワカメ	3：40～	7：30～
ミックス缶ジュース	4：20～	8：15～

「MY SIDEKICK」

○どうも、仙台シネアストです。今度、この情報誌の発行と同時に、月一回の割合で、定期的に自主映画の上映を行ってみようと思い立ち、早速実行してみることになりました。
で、私達のお願いというのは、これから情報誌をつくってゆくにあたっての記事と、上映会で上映する作品を募集したいということなのです。
もしよろしければ、皆さんの知っている面白い自主映画や、映画を撮っている方の情報がございましたら、この情報誌にお知らせ下さい。
上映会で上映させて頂いたり、この紙面でご紹介させて頂きたいと思っております。
上映会のイベント情報や、キャスト募集など、何でも協力です。　どうぞよろしくお願い致します。

BACK WORDS

12/30 シネアストが始まる『Undo』が今とても楽しみ。実は私この監督の元井敏の信者なんです。次回もがんばろう（よこざわ）

この情報誌がね？

川谷拓三死す！

おいおい（キシオミ）

発行／仙台SINE ASTE
連絡先／[redacted]
TEL [redacted]
スタッフ／斎藤裕生　岸浪裕史

NEW GARAGE MOVIES FOR THIS CITY

インディーズムービー INDIE'S MOVIE FROM CINEASTE

1996／JUN

1月号

第2回おすすめ自主映画館

どうも、あけましておめでとうございます。
世紀末まであと3年、やり残していることはありませんか？　今年一年も、悔いの残らない1年にしたいという、あなた。
まずは一発、イキオイのつく自主映画をどうぞ！　一本目は絶対無敵の大活劇！！　迫る影の超能力者！！
迎え撃つのはなんと、高校生！！　血湧き肉おどる、生きる力をくれる1本。
『MY SIDE KICK』
そして、行き急ぐイキオイを気持ち良くそそってくれる（と、わたしは感じたのですが）『玄米のワカメ』と『ミックス缶ジュース』
『生きる力』1本と、『行き急ぐ』2本、96年新春を飾る特選自主映画、合わせて3本！　まさにおすすめ映画！！
これだけ見とけば、ゴジラが死のうとトラさんが笑わろうと大丈夫！！　じゃ、良いお年を！！（おいおい。）

「MY SIDEKICK」より

MY SIDE KICK

Neo Keio Hi Film　須賀勢次郎監督

時をこえて繰り広げられる善と悪の攻防戦！！

現代に出現した悪の超能力者をむかえうつのは、なんと高校生！！
果たして勝負の行方は？　人類に未来はあるのか？

血湧き肉躍る戦いを、合成、アクション、美術すべてにハイレベルの映像作品として軽快に描き切ったのは、高校時代から製作を発表し続けて来たNeo Keio hi Film の須賀勢次郎監督です。「えび天」等で予告編をご覧になった方もいらっしゃるでしょう！　あの天下の名作が、いよいよ仙台上陸です！　これは見るしかない！！

期待の新星 田村大悟 監督 小特集

新感覚恋愛映画2本・一挙上映！！

学院大学上映会、フィルムフェスティバル94などで、めきめきと頭角を表して来た、新人（で、いいのかな）田村大悟監督の作品を、一挙に2本上映。　見てのお楽しみ！！

「玄米のワカメ」より

「ミックス缶ジュース」より

入場無料・カンパ制です。

96年1月15(祝),20日(土)

141ビル5階 創作アトリエ　＊東北電力ビル ワッツホール

＊2日目は会場が違います　お間違えのないように

自分で映画を作ってみたい！
いろんな映画を観てみたい！

そんなあなたに贈る **自主製作映画** の情報紙！